

第 14 回世界湖沼会議

14th World Lake Conference

“Lakes, Rivers, Groundwater and Coastal Areas: Understanding Linkages”

湖沼、河川、地下水、海岸域の「つながり」を考える

2011 年 10 月 31 日(月)～11 日 4 日(金)

アメリカ合衆国テキサス州オースティン市

Austin Convention Center



AUSTIN 2011



テキサス州立大学河川システム研究所

River Systems Institute, Texas State University

財団法人 国際湖沼環境委員会

International Lake Environment Committee Foundation (ILEC)



はじめに

テキサス州立大学河川システム研究所(River Systems Institute)と(財)国際湖沼環境委員会(ILEC)は、2011年10月31日(月)～11月4日(金)に米国テキサス州オースティン市において、第14回世界湖沼会議を開催します。会議では、湖沼や貯水池の抱える科学的問題や管理・ガバナンスの問題などについて、知識や経験の共有、意見交換が行われます。



第2回案内には、発表論文の提出方法や会議のねらい、分科会、会議登録の方法、宿泊施設などの情報が記載されています。会議には、アメリカ国内だけでなく、世界各国から関連機関やNGO、学術機関・大学、民間企業など、先進国・途上国を問わず様々な関係者の参加を予定しています。

会議の目的と主要テーマ

第14回世界湖沼会議では、過去の会議と比べて、湖沼や貯水池を含む流域における技術的およびガバナンスの問題をより広範に取り上げます。もちろん従来のような、湖沼や貯水池の調査、管理の取組み、それらの重要な水系の持続可能な利用に関する問題も扱います。

テキサス州に位置する湖沼は全て人工の貯水池であることから、人工湖の管理や水利用についても議論が行われる予定です。貯水池の水は人間や生態系の水需要に応じて様々な用途に利用されるとともに、州の大半に大きな影響をもたらす予測不能の干ばつや洪水時にも重要です。一方、これらの貯水池は、水質や水量に関する様々なストレスに晒されており、関連するガバナンスの課題も抱えています。持続可能な水資源の利用に関する民間企業が担う役割についても焦点が当てられます。第14回世界湖沼会議の開催地であるテキサス州は、メキシコと国境を接しているため、ラテンアメリカからの参加者にとっては自国の湖沼・貯水池問題について議論する絶好の機会となるでしょう。

会議のメインテーマで『湖沼、河川、地下水、海岸域の「つながり」を考える』と掲げているように、湖沼システムと静水の特徴だけに焦点を当てるのではなく、湖沼や貯水池システムがどのように上流や下流の河川システムと水文学的につながっているのかなど、従来よりも大きな視点で水システムを捉えて議論をしたいと考えています。湖沼は、上流からの水質や水量、水利用の点で影響を受けます。その一方で、下流から海岸域まで、生態系や水利用に対して大きな影響を与えます。また地下水システムも湖沼や河川、海岸域に影響を与えると同時に、これらの「つながり」から影響を受けます。このように、生態系サービスの持続可能性を含む、湖沼・貯水池システムの仕組みや機能は、これらのつながりを含む静水－流水のつながりの恩恵に大きく依存しています。また、そのように考えると、湖沼・貯水池、その上下流の水系について、正確な評価や理解、管理に取り組むためには、包括的・統合的に取り組むことが重要であることが分かります。この視点に立てば、科学的、技術的な問題についてだけでなく、これらつながった水系の利用に影響を与える社会経済的またガバナンスの要素についても考慮する必要があります。ILECは、この数年間にわたって、静水・流水システムはどのようなつながりや相互作用をもっているのか、またこれらが管理を進める上でどのような意味を持っているのか、などについて地球規模で事例研究を進めてきました。この会議の中で、興味深い成果のいくつかを報告したいと考えています。



会期中の活動およびイベント

第14回世界湖沼会議では、以下のような活動やイベントが予定されています。

- 招待講演者による基調講演
- 湖沼・貯水池流域における科学的、技術的、社会・経済的管理とガバナンスに関する事項を扱う分科会

- 行政関係者のハイレベル会合やラウンドテーブル
- ポスターセッション
- 学生セッション(予定)
- 水に関する設備・技術展示
- 市民参加プログラム
- 夕食会や文化的催し
- 高地湖沼やエドワーズ地下水システムなどへのフィールドトリップ(予定)
- 会議前後のワークショップ(予定)
- 同伴者のためのエクスカージョン(予定)



分科会のトピック

第14回世界湖沼会議では、新たに「湖沼・貯水池システムに影響を与える静水一流水のつながり」という点に着目し、その他たくさんの興味が寄せられた以下のようなトピックをテーマ別分科会で取り上げ、発表・議論を行う予定です。

- 世界各地の陸水学的問題と水質問題
 - 温帯、熱帯、乾燥地帯における湖沼・貯水池の陸水学的な比較
 - 塩湖と汽水海洋湖沼水域
 - 湖沼・貯水池システムにおける物理的な過程—混合、輸送
 - 藍藻類や有害藻類の大量発生
 - 高地湖沼における湖沼保全と水文学的なつながり
- 統合的湖沼流域管理(ILBM)
 - 包括的水資源管理のアプローチとしてのILBM
 - ILBMの国際的な展開
 - 湖沼・貯水池のガバナンスの問題
 - 地域住民や地方自治体による湖沼・貯水池の流域管理
 - 湖沼・貯水池流域管理の手法(モデリング、GIS、政策決定支援システム等)
 - 天然および人工の貯水池システムにおけるILBMの課題
- 産業、農業、都市における水利用
 - 産業用の水利用の課題と可能性
 - 水供給、水質、都市化と成長
 - 農業における水利用、作物、水配分などの問題
 - 新たな水市場
- 流域にまたがる水資源管理
 - 乾燥、半乾燥地域における持続的な利用のための湖沼・貯水池管理
 - 湖沼・貯水池システム: 保全と生態系サービス
 - 水資源保全と管理のための環境にやさしいテクノロジー
 - 水供給と衛生
 - 市民参加を含む水質モニタリング
 - 湖沼・貯水池や湿地における外来種
- 気候変動の影響
 - 生物地球化学的・水文学的な循環
 - 湖沼・貯水池の水質
 - 沿岸や内陸漁業への影響
- 湖沼、河川、地下水、海岸域のつながり
 - 表流水と地下水の相互作用と水交換
 - つながった水系の評価と連結管理
 - 干ばつや洪水時の水系の管理課題



- 土地利用とつながった水系への影響
- 特別題目
 - 環境流量
 - 先住民族と湖沼・貯水池流域の文化的な問題
 - 新たな水問題(健康、個人医療用具など)
 - リオ・グランデ川流域の統合的管理の課題
 - 新たな科学、技術、調査の問題



これらのトピックや第14回世界湖沼会議のテーマやねらいに関連する論文の発表をお待ちしています。優秀な論文は、ILECの科学ジャーナル誌「Lakes & Reservoirs: Research and Management」への投稿を依頼する可能性があります。

論文の募集 <申込締切:2011年6月30日>

第14回世界湖沼会議のテーマやねらいに関連する論文を募集しています。分科会で論文発表をご希望の方は、**2011年6月30日(木)までに**下記公式ウェブサイトから論文要旨(英語:300~500語)をご提出ください。提出論文の様式、発表方法等の詳細は論文要旨受付後にご連絡致します。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 論文要旨の提出はこちらから→<http://www.wlc14.org/abstract-submission-form/>

ポスター発表の募集 <申込締切:2011年6月30日>

第14回世界湖沼会議では、会場にてポスターセッションを行います。ポスターセッションでの発表を希望される方は、2011年6月30日(木)までにポスターの内容についての要旨(英語:300~500語)を下記公式ウェブサイトからご提出ください。ポスターの大きさ、ポスターセッションでの発表方法等の詳細は、要旨受付後にご連絡致します。

- ポスターの要旨の提出はこちらから→<http://www.wlc14.org/poster-session-form/>

セミナー・特別セッションの募集 <申込締切:2011年6月30日>

第14回世界湖沼会議の機会を利用して、独自でセミナーや特別セッションの開催を希望される団体・組織には、特別に時間枠・会場を手配することが可能です。セミナーや特別セッションは、会議のテーマに関連したものに限り、参加者に意見や経験の共有、議論の場を提供できるようなものとします。ご希望の方は、下記公式ウェブサイト上で**2011年6月30日(木)まで**にお申し込みください。

- セミナー・特別セッション開催の申し込みはこちら→<http://www.wlc14.org/seminar-request-form/>

展示について

民間企業や行政機関、NGO、研究機関など、展示ブースの出展を募集しています。展示スペースは会場の様々なセッションやイベントが開催され、多くの人が行き交う目立つ場所に設置される予定です。出展することで、世界各国からの参加者に向けて製品や研究の成果、活動を国際的に発信することができます。スポンサーおよび展示に関する詳細は、下記公式ウェブサイトをご覧ください。

- 展示関連情報はこちら→<http://www.wlc14.org/exhibitors/>

会議プログラム

第14回世界湖沼会議の全体のプログラムは以下の予定です。

	10月31日(月)	11月1日(火)	11月2日(水)	11月3日(木)	11月4日(金)
午前	開会式典 全体講演	分科会	分科会	分科会	フィールドトリップ
午後	分科会	分科会	分科会	全体講演 閉会式典	

会議プログラムは、国際科学委員会および現地組織委員会、特定の組織や関連機関などでさらに協議・検討され、最終決定されます。最終プログラムは、下記ウェブサイトまたは第3回案内でお知らせする予定です。また、会議での使用言語は英語です。

- 会議プログラムはこちら→<http://www.wlc14.org/program/>

会議登録

第14回世界湖沼会議へご参加の方は、会議登録が必要です。オンラインでの会議登録の方法や、詳細な情報は下記ウェブサイトをご覧ください。下記の会議登録費には、会議プログラム、筆記用具、オースティン市の市内地図や観光情報などが含まれています。また、登録費は、米ドルでクレジットカード、小切手、銀行送金での支払が可能です。

- 会議登録はこちら→<http://www.wlc14.org/registration/>

	2011年6月15日までの 早期登録	2011年6月16日以降の 登録
先進国（夕食会参加費を含む）	450 米ドル	500 米ドル
発展途上国（夕食会参加費を含む）	350 米ドル	400 米ドル
大学生*（夕食会参加費は含まない）	175 米ドル	200 米ドル
1日登録（夕食会参加費は含まない）	125 米ドル	125 米ドル
夕食会参加費	75 米ドル	75 米ドル

*会場にて学生証の提示が必要です。

スポンサーの案内

第14回世界湖沼会議では、スポンサーを募集しています。世界湖沼会議は、世界各国から多くの参加者が集まる国際会議ですので、スポンサーとなっていただくことで、国際的に認知されるいい機会となるでしょう。より多くの皆様にスポンサーとしてご協力いただくことにより、会議の重要性が認識されるだけでなく、より充実した会議プログラムを参加者に提供することができます。参加者にとってより充実した会議が開催できるよう、各団体、機関、企業やNGOなどの皆様からのご協力をお待ちしております。スポンサーは、スポンサーリスト(<http://www.wlc14.org/sponsor-list/>)に掲載されます。

- スポンサー関連情報ははこちら→<http://www.wlc14.org/sponsor/>



米国のビザについて

日本は、米国のビザ免除プログラムに参加しているため、日本国のパスポートをお持ちの方は、米国に短期商用・観光目的(90日以下)で旅行する場合、ビザは必要ありません。ただし、米国行き航空機や船に搭乗する前に、電子渡航認証システム(ESTA)への登録が米国国土安全保障省(DHS)により義務付けられています。ESTAは、インターネットから申請できます。(申請費用:14米ドル)

- ESTA申請はこちら→<http://tokyo.usembassy.gov/j/visa/tvisaj-esta2008.html>
- その他、ビザに関する情報はこちら→http://travel.state.gov/visa/visa_1750.html (英語)

ホテル

第14回世界湖沼会議にご参加の方は、下記のホテルに割引価格で宿泊が可能です。予約は、直接ホテルに電話による問い合わせ、またはウェブサイト上で行ってください。ご予約の際には、必ず「WLC14 rate (第14回世界湖沼会議用の割引価格)」にてお申し込みください。なお、部屋数には限りがありますので、お早めにご予約されることをお勧めします。

ホテル	シングル/ダブル
Radisson Hotel & Suites Austin – Town Lake http://www.radisson.com/austin-hotel-tx-78701/txaustdt Tel: 1-800-395-7046 (アメリカ国内・カナダから無料) Tel: +1-512-478-9611 (海外から) ※インターネットからご予約の際は、Promotion Code の欄に「WLC14」とご入力ください。	135米ドル(税別)
Omni Austin Hotel – Downtown http://www.omnihotels.com/FindAHotel/AustinDowntown/MeetingFacilities/WorldLakeConference14.aspx Tel: 1-800-843-6664 (アメリカ国内・カナダから無料) Tel: +1-512-476-3700 (海外から)	175米ドル(税別)

また、宿泊費を抑えるために、ホテルの部屋をシェアしたい方は、会議ウェブサイトの伝言板 (Message Board) を使って、シェアする相手を探すことができます。

- 伝言板はこちら→<http://www.wlc14.org/alt-lodging/>

会議開催地ーテキサス州オースティン市

第14回世界湖沼会議は、「ひとつ星の州:Lone Star State」の愛称で知られるテキサス州の州都オースティン市で開催されます。オースティン市にある州議会議事堂は、ワシントンD. C. にあるアメリカ合衆国の国会議事堂を模倣したのですが、本物より約3メートル高く建設されています。オースティン市には、立法府をはじめ、ボブ・ブルロックテキサス州歴史博物館、いくつかの美術館やギャラリー、主要な国や州の水機関、民間組織や2国間機構などがあります。また、アメリカ最大規模の大学で、水関係のプログラムや研究機関で有名なテキサス大学の本部キャンパスもあります。そこには、国内最大の大統領図書館があり、アメリカ合衆国第36代リンドン・ベインズ・ジョンソン大統領の書類や記念品が所蔵されています。「世界のライブ・ミュージックの首都」としても有名なオースティン市には、多くのライブ会場があり、その多くは古くからある繁華街にレストランやナイトクラブとともに軒を連ねています。近郊の「倉庫街地区」には、多くのレストランや地ビール醸造所、昔ながらのパブや喫茶店などがあります。





その他のユニークな見所として、テキサス州は北米最大の都市コウモリの生息地で、おおよそ1500万匹のメキシコ・オヒキコウモリがCongress Avenue BridgeからTown Lakeにかけて生息しています。夜に多くのコウモリが餌を求めて闇の中を飛び回る様子は、テキサス州を訪れる観光客の観光の目玉のひとつとなっています。

オースティン市は、テキサス州の中心部の6つの連なった高地湖のそばに位置しています。高地湖は連鎖貯水池システムで、オースティン市や周辺のコミュニティに飲料水をはじめ、釣りやボートなどのレクリエーションの場、水力発電やその他の生態系サービスを提供しています。また、テキサス州立大学のキャンパス

には、北米有数のアーテシア帯水層であるエドワーズ帯水層から流れ出るサンマルコス・スプリングなどの多様な川や湧き水を含む無数のつながった淡水システムがあります。それらは、テキサス州立大学が源流であるスプリング湖や、サンマルコス川へと流れています。これら独特の水文学的環境には、絶滅の危機に瀕している7種の水生生物が生息しています。

国際科学委員会

- ALADIN, Nikolay(ロシア)：ロシア科学アカデミー動物学研究所教授
- AZEVEDO, Sandra(ブラジル)：リオ・デ・ジャネイロ連邦大学フィリオ生物物理学研究所教授
- CARRERA, Eduardo(メキシコ)：湿地保全国際NPO Ducks Unlimited理事長
- DIOP, Salif(ケニア)：国連環境計画(UNEP)早期警戒・評価部生態系部門長
- 浜中 裕徳(日本)：(財)国際湖沼環境委員会理事長
- JIN, Xiangcan(中国)：中国環境科学院湖沼環境研究センター所長
- JUAREZ-AGUILAR, Alejandro(メキシコ)：NGO団体CORAZON de la TIERRA代表
- MAGADZA, Chris(ジンバブエ)：ジンバブエ大学元教授
- 松井 三郎(日本)：京都大学名誉教授、(財)国際湖沼環境委員会理事
- MOLTZ, Heidi(アメリカ)：メリーランド州ポトマック川流域委員会上級科学者(水科学)
- 中村 正久(日本)：滋賀大学総合環境研究センター教授、(財)国際湖沼環境委員会科学委員会委員長
- NASELLI-FLORES, Luigi(イタリア)：パレルモ大学教授(植物生態学)
- OLAGO, Daniel(ケニア)：ナイロビ大学上級講師(地質学)
- PATAÑO, Carlos(メキシコ)：メキシコ水科学技術機構(IMTA)
- RAST, Walter(アメリカ)：テキサス州立大学教授(水産資源プログラム)、(財)国際湖沼環境委員会科学委員会副委員長
- ROBERTS, Richard(カナダ)：国連環境計画GEMS/Water陸水監視計画所長
- SANTOS-BORJA, Adelina(フィリピン)：ラグナ湖開発公社(LLDA)研究開発課主任
- SKINNER, Juan(グアテマラ)：アティラン湖環境保護協会 PRO-LAGO 副代表
- THORNTON, Jeffrey(アメリカ)：ウィスコンシン州東南地区計画委員会(環境計画)
- VIDAL, Omar(メキシコ)：WWFメキシコ事務局長
- 渡邊 紹裕(日本)：総合地球環境学研究所教授

(2011年3月現在、アルファベット順)

現地組織委員会

- BLOUNT-MILLER, Meredith : テキサス州立大学河川システム研究所保全調査専門員
- BONDY, Karen : オースティン下流コロラド川委員会水資源局長
- CARDENAS, Adele : 米国環境保護局上級政策アドバイザー
- CHARLES, Joni : テキサス州立大学准教授(財政・経済学)
- HODGES, Ben : テキサス大学オースティン校准教授(土木・建築・環境工学)
- LIND, Owen : ペイラー大学教授(生物学)
- LOPES, Vincent : テキサス州立大学教授(環境科学)
- MIX, Ken : テキサス州立大学助教(農学)
- PULICH, Warren : テキサス州立大学 河川システム研究所河口域研究者
- RAST, Walter : テキサス州立大学教授(水産資源プログラム)
(財)国際湖沼環境委員会科学委員会副委員長
- ROBERTS, Susan : テキサス州立大学河川システム研究所研究員(地下水資源研究)
- SANSOM, Andrew : テキサス州立大学河川システム研究所所長
- SMITH, Chad : テキサス州立大学助教(社会学)
- VOTTELER, Todd : テキサス州グアダルペ・ブランコ川機構水政策部部长
- WARREN, Emily : テキサス州立大学河川システム研究所参事



(2011年3月現在、アルファベット順)

会議の詳細について

論文要旨の提出や会議登録などを含め、会議に関する様々な情報は下記公式ウェブサイトでご覧いただけます。新しい情報も随時更新されますので、定期的に公式ウェブサイトをご確認されることをお勧めします。

会議公式ウェブサイト(英語): <http://www.wlc14.org>

お問い合わせ

テキサス州立大学 河川システム研究所(RSI)

担当: Jackie Rosen

601 University Dr.

San Marcos, Texas 78666-4616, USA

Tel: +(1-512) 245-9200

Fax: +(1-512) 245-7371

Website: <http://www.wlc14.org>

Email: worldlakeconf14@txstate.edu

財団法人 国際湖沼環境委員会(ILEC)

担当: 常諾(とこなぎ) 真由子

〒525-0001

滋賀県草津市下物町1091番地

Tel: 077-568-4567

Fax: 077-568-4568

Website: <http://www.ilec.or.jp/>

Email: WLC14@ilec.or.jp